

発行日 2025-09-22

バージョン 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 LysoTracker® Green DND-26

製品コード 8783

安全データシートの供給者の詳細

製造者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

販売業社

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 研究用途のみ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|-----------------|----------|
| 引火性液体 | 区分 4 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分 2 呼吸器 |

GHSラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H226 - 引火性液体及び蒸気
H371 - 臓器の障害のおそれ

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。粉じんを吸入しないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

ばく露した場合、又は気分が悪いとき：医師に連絡すること。

火災の場合：消火するために粉末消火剤、CO2(二酸化炭素)、水噴霧又は耐アルコール泡消火剤を使用すること。

保管

施錠して保管すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

| 化学名又は一般名 | CAS番号 | 重量% | 化審法番号 | 安衛法番号 |
|-------------|---------|--------|----------|----------|
| ジメチルスルホキサイド | 67-68-5 | 95-100 | (2)-1553 | (2)-1553 |

4. 応急措置

| | |
|-----------------------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。医師に相談する。 |
| 皮膚に付着した場合 | 温水と石けんで洗い流す。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 眼に入った場合 | まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐこと。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 症状に応じて治療すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 適切な消火剤 | 現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 水噴霧 二酸化炭素(CO ₂) 泡消火剤 粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | 高圧水で漏出物を散乱させないこと。 |
| 特有の危険有害性 | 引火性: 熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。蒸気は空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 水噴霧でドラムを冷却すること |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------|--|
| 緊急時対応要員以外の人用 | 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。保護具を使用する。 |
| 緊急対応を行う者のための保護具 | 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 |

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 環境に対する注意事項 | 環境中に放出しないこと。製品が排水路に入らないようにすること。 |
| 封じ込め方法 | 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 |
| 浄化方法 | 不活性吸収剤で吸収すること。 |
| 二次災害の防止策 | 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|----------|---|
| 技術的対策 | 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 |
| 安全取扱注意事項 | 裸火、高温面および着火源から遠ざけること。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく洗うこと。 |

保管

| | |
|---------|--|
| 安全な保管条件 | 耐炭化水素の容器、パッキン、パイプ等のみを使用すること。乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。光から遮断すること。 |
|---------|--|

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|--------------|---|
| 許容濃度 | 供給時の状態のこの製品は、報告義務のある職業性ばく露限界値が設定されていない物質又は現地当局の報告要件の対象とならない物質を含んでいる。 |
| 生物学的許容値 | 供給時の状態のこの製品は、報告義務のある生物学的ばく露限界値が設定されていない物質又は現地当局の報告要件の対象とならない物質を含んでいる。 |
| 設備対策 | シャワー 洗眼場 換気システム |
| 環境ばく露防止 | 情報なし |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること |
| 手の保護具 | 不浸透性手袋 |
| 眼及び／又は顔面の保護具 | 側板付き保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること |

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

| | |
|------|----|
| 外観 | |
| 物理状態 | 液体 |

| | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|--------------|
| 色 | 無色 | |
| 臭い | 硫黄のような臭い | |
| 特性 | 値 | 備考・方法 |
| 融点/凝固点 | 18-19 °C / 64.4-66.2 °F | |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 188-190 °C / 370-374 °F | |
| 可燃性 | | 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | | 情報なし |
| 爆発上限界 | 61-64% | |
| 爆発下限界 | 2.4-2.8% | |
| 引火点 | 87-89 °C / 188.6-192.2 °F | |
| 蒸発速度 | | |
| 自然発火点 | 214-216 °C / 417.2-420.8 °F | |
| 分解温度 | | 利用可能な情報はない |
| 情報なし | | |
| SADT (°C) | | 情報なし |
| pH | 6-8 | |
| 粘度 | | |
| 粘度 | | 情報なし |
| 粘度 | | 情報なし |
| 水への溶解度 | | |
| 他の溶剤への溶解度 | | |
| n-オクタノール/水分配係数(log値) log Kow = -1.35 | | |
| 蒸気圧 | | |
| 密度及び/又は相対密度 | | |
| 相対密度 | | |
| 蒸気濃度 | | 情報なし |
| かさ密度 | | 情報なし |
| 相対ガス密度 | | |
| 粒子特性 | | |
| 粒径 | | 該当しない |
| 粒径分布 | | 該当しない |

10: 安定性及び反応性

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 通常の条件下で安定 |
| 危険有害反応可能性 | 熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。 |
| 避けるべき条件 | 裸火、高温面および着火源から遠ざけること。 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害性分解生成物 | 硫酸化物 |
| 爆発データ | |
| 静電放電に対する感度 | なし |
| 機械的衝撃に対する感度 | なし |

11. 有害性情報

急性毒性

| 化学名又は一般名 | 経口LD50 | 経皮LD50 | 吸入 LC50 |
|----------|--------|--------|---------|
|----------|--------|--------|---------|

| | | | |
|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|
| ジメチルスルホキサイド | = 28300 mg/kg (Rat) | = 40000 mg/kg (Rat) | > 5.33 mg/L (Rat) 4 h |
|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|

症状 過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。

製品情報

| | |
|-------------------------|---------------|
| 経口 | この製品に関する情報なし。 |
| 吸入 | 刺激のおそれ。 |
| 皮膚接触 | この製品に関する情報なし。 |
| 眼接触 | この製品に関する情報なし。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発がん性 | 情報なし |

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 臓器の障害のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 この製品の環境に与える影響は完全には調査されていない。

| 化学名又は一般名 | 藻類／水生植物 | 魚類 | 甲殻類 |
|-------------|---------|--|-----|
| ジメチルスルホキサイド | - | LC50: =34000mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: 33 - 37g/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: >40g/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =41.7g/L (96h, Cyprinus carpio) | - |

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 易生分解性

生態蓄積性

| 化学名又は一般名 | 分配係数 |
|----------|------|
|----------|------|

| | |
|------------------------|-------|
| ジメチルスルホキサイド 67-68-5 | -1.35 |
|------------------------|-------|

他の有害影響 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

労働安全衛生法

| 化学名又は一般名 | 区分 | 含有率 % |
|------------------------|--|---------|
| ジメチルスルホキサイド 67-68-5 | 安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく 不浸透性の保護具等の使用義務 物質 | 95-<100 |

16. その他の情報

発行日 2025-09-22

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

* 皮膚兆候

Ceiling:

+

最大限值:

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
製品評価技術基盤機構(NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終